

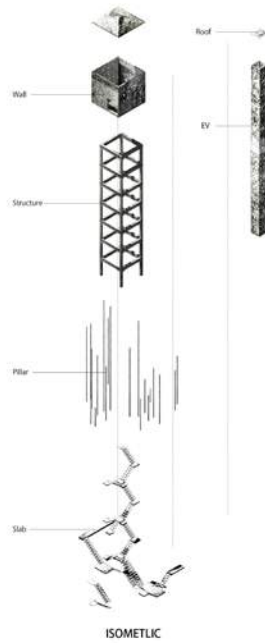
ELEVATION



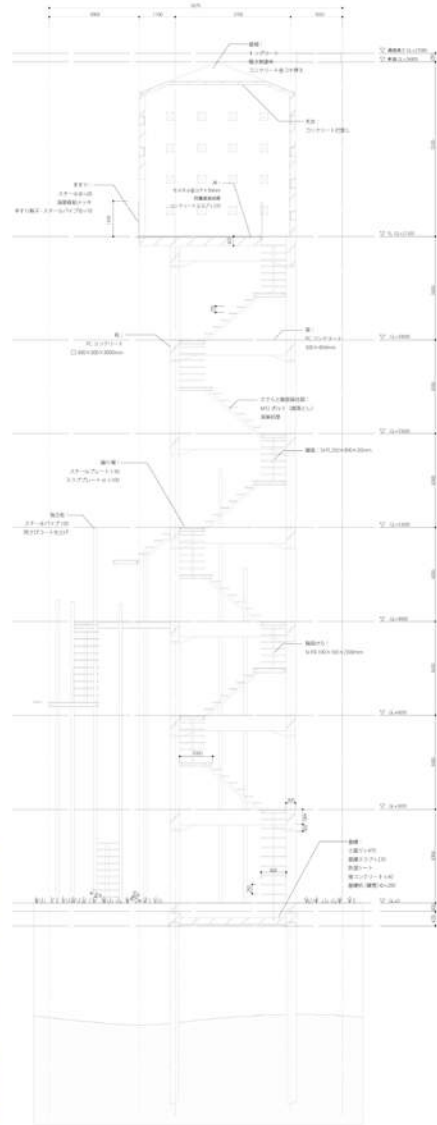
オブジェクト (Object)

展示ギャラリーには 3 つのオブジェクトの要素を組み込んでいる。(仲間はずれのファサード、孤独になれる場所、不自然なスケール) それぞれのオブジェクトは行田公園周辺のサーベイにより発見した都市のオブジェクトである。街並みを実験として見ることで、行田公園の歴史を再認識するための施設である。

展望台本来の機能に対して、「孤独になれる場所」という上部に導く階段のオブジェクト反復させた。そうすることによって、展望室という 1 つの空間に対して向かうあるルートがあり、それは別の通りで向かう他のルートが生まれた。1 つの目的に対して、この 2 通り以上の通りの出会い方があることが、小さな森の空間の中にとても豊かな体験を生んでいる。展望室に対して一直線で向かう階段や、公園を見渡すステージのような行き止まりの階段や、公園の木々の中を散策するように通り抜ける階段など、何種類かの階段が混ざり合うように構成している。展望室のファサードは採光を取り入れるための開口と、眺望を取るための開口の 2 種類の開口がある。全体的に採光を取るために 250×250 の開口を全面に規則的に反復させ、眺望をとるための開口は 2000×2000 で構成している。この開口の不自然な差異性は都市で発見した「仲間はずれのファサード」の要素によるものである。



ISOMETRIC



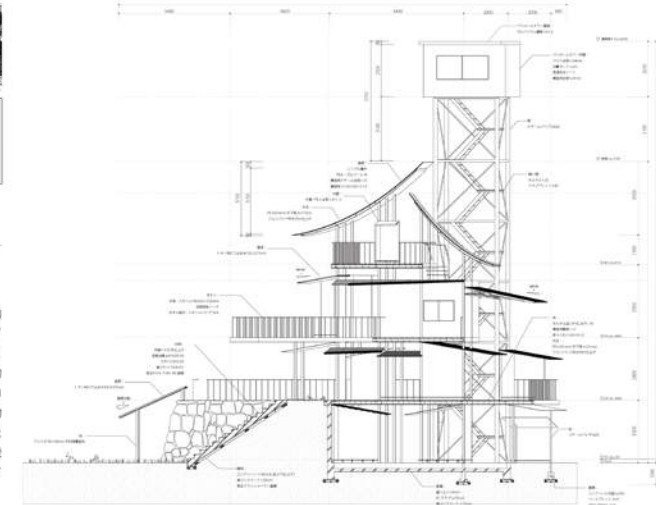
DETAILED SECTION



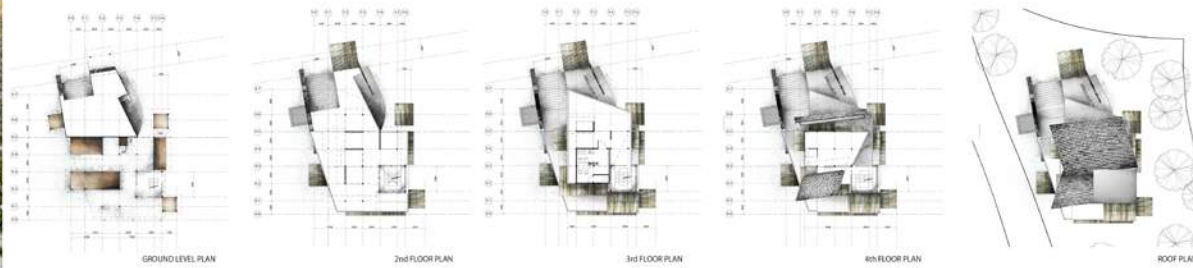


オブジェクト (Object)

公園管理事務所には4つのオブジェクトの要素を組み込んでいる。(パトロールタワー、ピロティ内の屋根、三角バルコニー、石のランドスケープ)それぞれのオブジェクトは行田公園周辺のサーベイにより発見した都市のオブジェクトである。パトロールタワーというオブジェクトを選定することで、公園を管理する上で重要な遠くを見渡せるといった機能が発生する。パトロールタワーは一部構造的に作用していて、他のオブジェクトとの関係において本来とは別の機能がここに生まれている。ピロティ内の屋根はピロティの下に屋根が設けられている無用物の例である。無用物で構築しても無用物は無用物であり、そこに合理性は発生しないのだが、ピロティ内に屋根のある空間を展開していったことで、ピロティという全体性の中で屋根下空間という個の空間が生まれている。この屋根は雨を凌ぐなどといった合理性から発生したオブジェクトではなく、個の場所を作り出すオブジェクトとして発生したオブジェクトである。



DETAILED SECTION



GROUND LEVEL PLAN 2nd FLOOR PLAN 3rd FLOOR PLAN 4th FLOOR PLAN ROOF PLAN

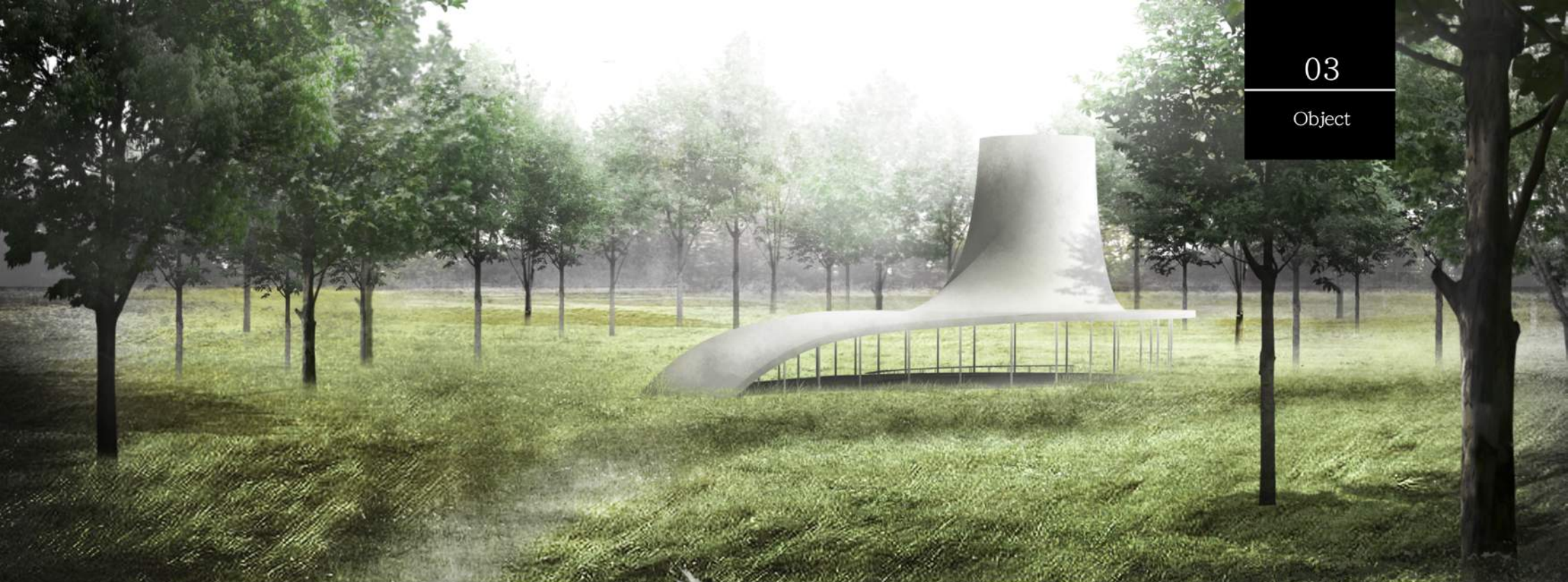
PLAN



EAST ELEVATION WEST ELEVATION SOUTH ELEVATION NORTH ELEVATION

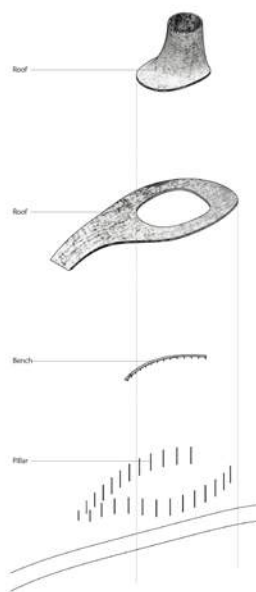
ELEVATION



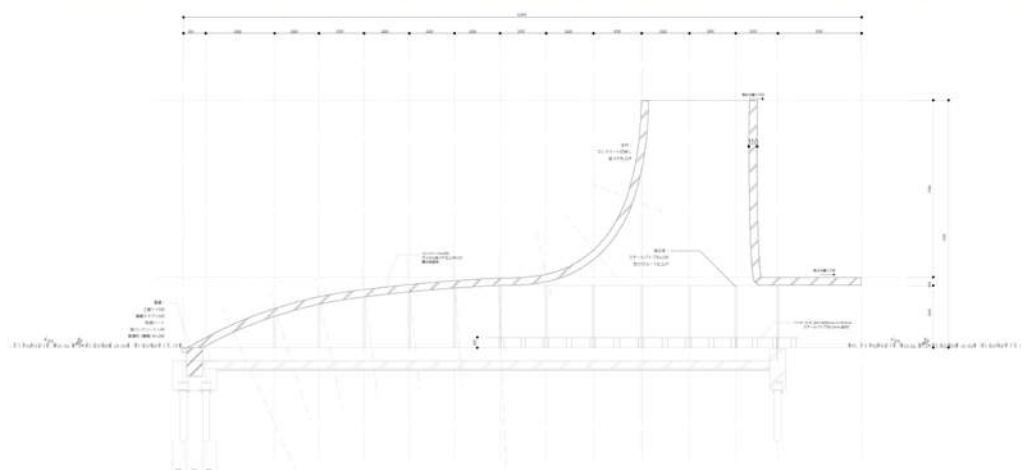


オブジェクト (Object)

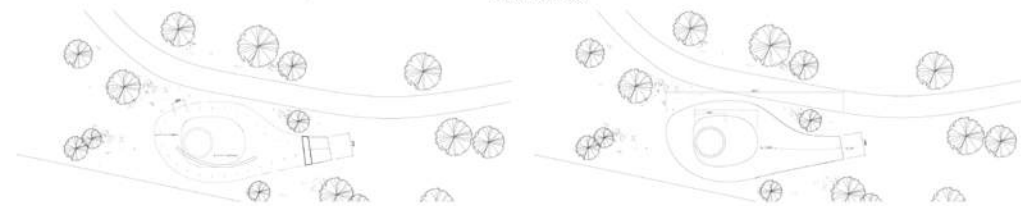
休憩所には2つのオブジェクトの要素を含んでいる。(エッジの丸み、不自然なスケール) それぞれのオブジェクトは行田公園周辺のサーベイにより発見した都市のオブジェクトである。この施設は公園の休憩所として機能するとともに、公園の複数のイベントに対しある瞬間のある機能にตอบสนองするような、「何にでもないような建築」を目指した。どのような形態でもある程度成立する休憩所という機能に対し、できるだけ特定の機能性を発揮しないようなオブジェクトを選定した。



ISOMETRIC



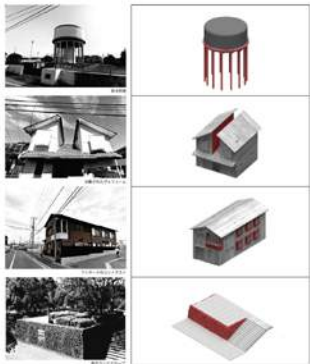
DETAILED SECTION



GROUND LEVEL PLAN

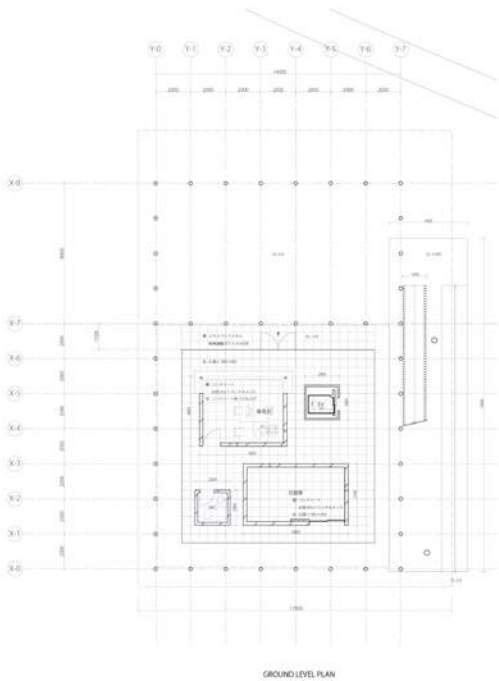
ROOF PLAN



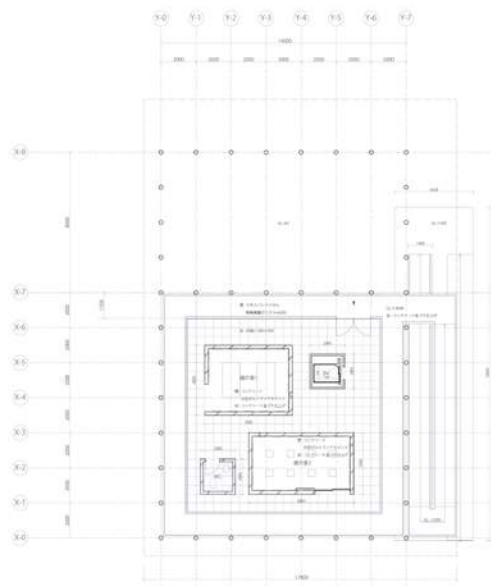


オブジェクト
(Object)

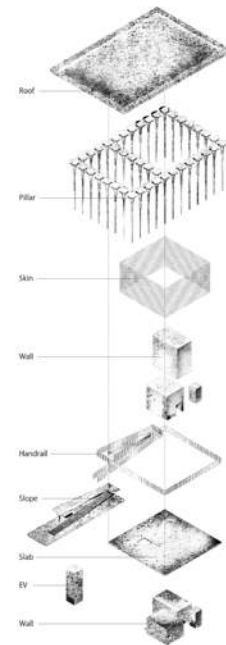
付近の小学校の生徒や幼稚園の生徒が作成した作品を展示し、地域の人に開放する機能をもつオブジェである。ギャラリー本来の規模に対して、「巨大列柱」のオブジェクトを挿入することによって、より柱大なオブジェクトへと変貌した「分断されたヴォリューム」の要素を組み込むことで、内部に分断されたプランを与えた。複数のヴォリュームが構成する迷路のような空間構成を作っている。ヴォリュームとヴォリュームの間からは周囲の風景が切り取られる。2階展示室のファサードにはガラスの外側にエキスパンドメタルを採用している。1階のガラスのみで構成された軽いファサードに対し、2階のファサードを半透明なエキスパンドメタルとすることで、建築に軽さを与えた。これは「ファサードのコントラスト」により生まれた要素である。



PLAN



2nd FLOOR PLAN



ISOMETRIC

